

GOVERNOR'S

Monthly Letter VOL.10

2012
April

ガバナー
月信

4

Rotary International
District 2800
2011-2012



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために



国際ロータリー第2800地区【2011-2012年度】

ガバナー 細谷 伸夫 RI会長 カルヤン・バネルジー
RI会長エレクト 田中 作次 RI理事 近藤 雅臣

自己審査



2011-2012年度
国際ロータリー
第2800地区
ガバナー
細谷 伸夫
(山形西RC)

ロータリアンにとって、ロータリーを学ぶことは最も重要な事です。

ロータリアンは勉学したことを、身につけなければなりません。身に付いた知恵は、実社会で使わなければ何の価値もありません。しかし、ロータリーの理念を学び、そこまで到達することは、そう容易なことではありません。我々は往々にして、勉学したことすぐ忘れがちであります。ですからロータリアンは、身につけ、行動できるように、日々努力しなければなりませんし、努力する義務があります。

ロータリアンは、この義務を日常生活の中で遂行する義務があるのです。しかし、これも容易ならざるものであります。ついつい忘れがちになりますし、忘れたことも気付かなくなってしまいます。

R I は「検証」を要求します。あらゆる奉仕活動において、計画し、遂行し、検証し、評価することを求め、それによって初めて正しい、あるいは適確な奉仕活動ができると考えています。

この同じ事が、ロータリーの精神を学び身につけ行動することにも求められます。それは自分の心と行動と、そして日常生活をも日々点検して生きることに他なりません。自分は日々どのような生活を行っているのか。この問いは、自分が求められるロータリアンに相応しい生活を送っているのかという、難しい問い合わせます。いわば「あなたはロータリー生活をしていますか」と問われていることでもあります。これはロータリーに影響を及ぼしたプロテスタ

ントの牧師であるバクスターが言う「自己審査」と呼ばれているものです。自己審査とは、自らが自らの心と行動を検証することに他なりません(「ピューリタン牧師バクスター」梅津順一著)。

自らがロータリーの心を持っているか、ロータリー精神にそった行動をしているか、日々検証しなければなりません。ロータリーの樹に例えれば、日々の適切な、木にみあった肥料と手入れが大切なのです。さもないと、ロータリーの樹は違った黒い花を咲かせるか、あるいは根が腐り木が枯れてしまうでしょう。

この自己審査を怠ると、我々は自分自身をよく知ることが出来なくなります。物事の判断基準たる自分が分からなければ、何が正しいかを知ることが出来ず、何事も正しく行うことが出来なくなります。

ですから、常に自分の心と行動そして日常生活において、ロータリーの心が生きているかに注意を払うことが必要です。あなた自身について不注意であったり、無頓着であったりしてはなりません。

最後に、自己審査は、そこで得られる結果（良い結果、悪い結果）が決定的であったのではなく、自己審査によって人々をさらなる義務の生活に導く方法として重視されているのです(同書)。

ロータリー的生活を実践していたかの検証は、検証の結果である良い結果、悪い結果ではなく、検証によって出た結果に基づき、ロータリアンがさらなる義務の生活を遂行する方法として重視されるのです。

R I テーマ「心の中を見つめよう、博愛を広げるために」は正にこの事を求めているのです。皆さんの心と行動と生活がロータリーの理念にそったものであることを、自らの心の中の検証（自己審査）を通して求めているのです。

新旧ガバナー補佐・委員長会議



次年度地区幹事
菊地 泰雄
(南陽東RC)

2月18日新旧ガバナー補佐、大小委員長会議が南陽市防災センターで開催されました。早朝より又、大変寒い中、細谷ガバナー、塚原直前ガバナーのご出席を賜り68名の参加を頂き、いよいよ和田年度のスタートです。会議は飯塚次期事務局長の進行で始まり、片平次期資金委員長の開会の挨拶に続き細谷ガバナーの挨拶、その中で次年度R I会長のテーマ「奉仕を通じて平和を」に向かって和田年度のご活躍を皆様で協力して頑張ってください、と言うことが強調されました。

新旧役員紹介は両新旧幹事の菊地と尾形亨様で行い、その後各委員会に別れ事業の報告や課題などを約1時間にわたり、有意義な会議が行われました。昼食後は新のガバナー補佐、大小委員長の会議に入り、塚原直前ガバナー研修リー

ダーよりご挨拶を頂き、次に和田ガバナーエレクトより国際協議会で発表になっております次期R I会長のテーマ「奉仕を通じて平和を」強調され、又次年度地区目標「ロータリーの理念を思いおこそう奉仕の心を広げるために」を発表されました。この方針に向かい1年間頑張りますのでよろしくお願い致します。

最後に塚原直前ガバナー研修リーダーの講評があり、菊地より今後の日程の確認、片平次期資金委員長の閉会の挨拶で全日程を終了しました。



雑誌月間によせて…

ロータリーの友委員 伊藤 義彦



4月はロータリー雑誌月間です。R I の公式雑誌である「ザ・ロータリアン」又は公式地域雑誌である「ロータリーの友」を購読してそれを活用促進させるプログラムを実施する月間で、雑誌に対する認識を深め、ロータリー情報の普及を図る事を目的としております。「ロータリーの友」の創刊は、1953年(昭和28年)1月です。日本のロータリーは1952-1953年度から1つの地区から60、61地区の2つの地区に分割されることになり、2つの地区的連絡を密にする為に何か機関紙でも作ろうということになり、「友」の発刊が決まり1953年1月に創刊されました。ロータリーソングの「手に手つないで」もその年に作られました。「ロータリーの友」の名前はいろいろ検討されましたが「主を得て名付けられたそうです。創刊当時の発行部数は3300部で一冊50円だったそうです。号では約9万7500部で通巻703号をこえています。1975年以来1冊200円を維持しており

GOVERNORS ガバナー紹介

第 2800 地区

思いやりの心

第 2800 地区

ほそや のぶお

細谷伸夫ガバナー

(山形西RC)

山形

細谷伸夫ガバナーは、職業人としてはまさに脂の乗り切った働き盛りの弁護士です。また、山形市選舉管理委員会委員長として、重要な公職を担っています。

仕事ぶりは発想が豊かで緻密です。2007 年、山形西 RC は「50 年史」を刊行しましたが、その編集委員長として辣腕をふるった時のことを思い出します。

「細谷編集長」は過去の年史の体裁を変えて大判にし、表紙、裏表紙はあつと驚くデザインを考え出しました。編集では納得のいくまで手を入れ、全面的に組み替えることも一度ならず、編集委員は深夜どころか翌日まで細谷法律事務所の一室に足止めされました。作業が深夜に及ぶ時、政子夫人はよく茶葉を差し入れてくださいました。夜食がうな重だったことも再度でした。

こうして出来上がった「50 年史」は 373 ページもの大冊で、内容も充実しており、私は編集に携わった一員として誇りに思っております。

細谷ガバナーは大日本茶道学会に属し、その山形支部長を務める茶人であります。茶道歴は 40 年、夫人も 30 年に及び、茶道は夫婦間の趣味なのです。なお、政子夫人は能楽の話と仕舞にも精通しており、ガバナーは夫人の舞台をよく観にかけます。

細谷ガバナーの掲げる「思いやりの心を育て広げよう」は、こうした経験と人柄から自然ににじみ出てきたもので、現今の世相を思えば、まさに時に得た目標であります。

山形西 RC 佐藤章夫

職業分類 - 民事弁護士	1944 年 11 月 7 日生	細谷法法律事務所
所長		地区副幹事、地区
86 年山形西 RC 入会		クラブ管理運営委員長、メジャードナー、米山功効者。

▲ 2011.7月号

心は共に 8

山形名物 芋煮などの炊き出し

南陽臨雲ロータリークラブ

10月13日、東日本大震災被災地を訪問しての「炊き出しボランティア」活動第2弾を宮城県多賀城市総合体育館の避難所で行い、米沢牛がたっぷり入った熱々の山形名物の芋煮を振る舞いました。

クラブの運営方針の一つに東日本大震災の復興支援を掲げ、6月の多賀城市山王公民館に続き2回目となる炊き出しは、現地の受け入れ状況などを考慮し、要望を聞くなど事前に現地調査をしながらの活動となりました。同体育館の避難所では約100人が避難生活を送っていますが、震災から半年過ぎた現在でも提供される食事は朝晩弁当、昼はパン2個だけで、温かいものが少ない状況でした。

今回は現地にサトイモ12kg、米沢牛7kg、コンニャク10枚などの芋煮の材料と、大鍋やガスコンロなど用具一式を持ち込んで調理した熱々の芋煮と一緒に、山菜おこわや置賜特産の丸子ナス漬け、デザートに南陽産ぶどうのピオーネなどを提供。本場の山形の芋煮を吃るのは初めてという人も多く、「おいしい」と大好評。お代わりをする人もおり、会員たちは笑顔で対応し交流を深めました。長期にわたるであろう復興のために知恵を出し合い、息の長い支援をしていかなければならぬとあらためて実感しました。

(第2800地区 山形県)

▲ 2011. 12月号

2011. 11月号 ►

The image shows the front cover of a Japanese book. The title 'ROTARY 柳壇' is written in large, stylized characters within a decorative oval frame at the top. Below the title, the author's name '遠藤しげる' is written vertically. The publisher's name '山形・遊佐 佐藤' is also present. The spine of the book features the same title and author information.

▲ 右から2011. 7月号、2012. 1月号

▲ 2012. 2月号

▲ 2011. 9月号

広告収入が一役たっています。「友」の英語版は年1回11月に発行されています。編集方針は34地区の会員の為にクラブや会員の活動状況を紹介し、親睦を深め各種情報を掲載してロータリー活動の促進と発展に寄与する事を目的としております。投稿記事はすべて掲載する事を原則とする。但し他の地区やクラブ、個人の批判や誹謗する記事は掲載しない。又一人でも多くの会員の原稿を掲載するために趣旨を変えない程度に字数を制限する事があり編集委員会一任となっております。毎月号の「友」にR I 指定記事がありますが判りにくいとの意見が有ります。R I 本部から直訳するように言われておりますのでどうしても判りにくい文章となっております。今年度の編集企画は表紙は会員の写真で構成、テーマを決め会員による意見発表コーナーの場である「同論、異論」の新設、「この人、この仕事」の継続、「大震災復興への取り組みロータリーの奉仕活動」の連載、「日本のロータリー写真館」、新会員の為のロータリー解説である「はじめる一步」などで楽しみな企画です。投稿原稿が確実に掲載されるコツは事前に流れを確認して、どのような写真を撮るか考えておくこと、日本全国の人が読むということを意識した原稿を書く、読む人が興味を持ち役に立つことを書く、新鮮なネタつまり活動1ヶ月以内の原稿であること、写真は動きのあるもので集合写真は好ましくはないこれ等のこと注意してぜひ投稿なさってください。

晩学の記

山形 佐藤 章太

エスカーレ、海外のロータリークラブ訪問記、田舎の風景など、1,000枚以上の写真を掲載しています。

2012. 3月号 ▲

みんなのために生きよう

山形 佐藤孝一郎

「日本一の芋煮会」開催報告

2011. 11月号 ▲

日本一の芋煮会

山形 新井 芳則

2011. 12月号 ▲

ROTORARY AT WORK

第2800地区山形県米沢市会友会

多文化交流コラム

さまざまな国の音楽で盛り上がった

(左)酒井義夫 (右)酒井義夫

2012. 3月号 ▲

▲ 2011. 7月号

奉仕とは「思いやりの心」

細谷 伸太 ガバナー
(山形西RC)

2012. 3月号 ▲

掲載記事一覧

- 2011年
- 7月号 ガバナー紹介 ロータリー・アットワーク 柳壇
- 9月号 ロータリー・アットワーク
- 11月号 友愛の広場
- 12月号 友愛の広場 心は共に

- 2012年
- 1月号 柳壇
- 2月号 歌壇
- 3月号 ガバナーのページ 友愛の広場

ロータリーの友に掲載された2800地区の方々から投稿いただいたものを無作為に掲載いたしました。記載もれがございましたら御容赦下さい。

「第24回全国ローターアクト研修会」に出席して



国際ロータリー
第2800地区
ローターアクト小委員会
委員長
佐藤 洋行
(米沢上杉RC)

『年に一度、日本全国のロータリーとローターアクトが集うことにより、より良い関係を築き、ローターアクト発展に努める』という趣旨の下「第24回全国ローターアクト研修会」が新潟市の朱鷺メッセを会場に開催されました。

研修会の目的は、1)ローターアクト地区間のより良い信頼関係を推進するための機会、2)ローターアクト活動の建設的な意見交換、情報交換のための機会、3)ローターアクト会員の親睦と友好のための機会、4)参加者の指導力養成、5)ローターアクトの活動を広く紹介するための機会、の5点です。

今年度の研修会テーマは「共栄～共に学び、共に感じ、共に栄える」、ホストは新潟県（第2560地区）のRCとRAC、開催日は3月10日～11日。

1日目は代表者会議が行われ、ロータリ一部門の第1部は『講演会』第2560地区パストガバナー渡辺敏彦氏による「新世代奉仕のプログラムと若者の育成」、第2部は『グループディスカッション』を行い「ローターアクトについて語り合い、今後のローターアクト支援活動と発展のつとめよう」として話し合いました。様々な意見や提

案がなされ、会員増強や退会防止も含め、特にローターアクト30歳定年制について、入会して3～5年程度で30歳卒会になる、年度により多数の卒会があり活動に支障がでる等の実情が語られた。対して入会年齢はそのままにして退会年齢を35歳位にする、小さいボランティアサークルをグループごとRACにもってきてはどうか、大学生をもつと取り込む等々、ガバナーもRACに例会に参加してもらうという話もでました。

2日目は、代表者会議報告や一般プログラム報告など全体会議が行われました。このような全国規模の研修会は、参加しなければ体験できない内容が沢山あり、大変貴重な経験ができます。次年度は、エリア輪番制により第2エリア第2720地区（熊本・大分県）で開催予定です。当地区からもまた参加していただき、全国のアクターと交流し、様々な研修プログラムを実体験して、今後のより良い活動に活かしてもらいたいと思います。



第2回ロータリー財団セミナー報告

ロータリー財団委員会 委員長 池田 徳博
(鶴岡西RC)

1 3月3日開催された、同セミナーでは、国際ロータリー第2770地区から、地区ロータリー財団部門長、植野正裕氏をお迎えし、パイロット地区での、新地区補助金制度の実践と課題について、ご講演をいただきました。また、ポリオ撲滅のための、2億ドルチャレンジギフトへの、みなさんからの、さらなるご理解とご支援をいただくため、「あと1%の闘い」のDVDを放映しました。

2 植野氏のご講話では、当地区としての今後の具体的取り組み方や、公報・宣伝並びに各クラブへの地区からの支援方法について、多くのことを学ぶことができました。概略は、以下のとおりです。

(1) 新地区補助金制度での「地区補助金」と「グローバル補助金」については、

① 「地区補助金」は、従来と変わらないと考えてもよい。ただ、資金がDDFの20%から50%に引き上げられ、管理が地区に任せられたと考えるとよい。各クラブは、人道的プロジェクトにかかわらず、教育的プロジェクトでも、同補助金の申請ができる。

※ したがって、当地区では、これまでの160万円規模から、400万円規模のプロジェクトができることになります。また、少年サッカー大会、少年野球大会への補助も可能となります。さらに、目的を問わない、奨学生を、国内及び国際間での派遣も可能となります。

② 「グローバル補助金」は、従来のマッチング・グランドと同様と考えてもよい。相手国に、ロータリークラブがあること、学校や病院といった組織があれば容易である。また、地区は、各クラブの友好クラブを調査し、この友好クラブとの連携を図ることによって、同補助金の有効な活用ができる。

※ したがって、各クラブは、発展途上国の友好クラブとの間で、これまでの、井戸・水道の設置、学校・病院建設について、400万円規模でのプロジェクトが組めることになります。また、仮に400万円のプロジェクトとすると、WFから同額の補助があるので、全体では、800万円の規模のプロジェクトが組めることになります。

(2) 地区としては、各クラブに、手続的な案内をし、

各クラブは、「アイデア」を出すという、システムにするとよい。

※ 当地区では、3月から6月にかけて、各クラブにご案内を送付します。また、簡単な申込書等の書式もお届けし、申請の概要のご理解をいただくことにします。また、各クラブの友好クラブの有無等について、情報を集約させていただきたいと思います。さらに、具体的なプロジェクトの例もご案内させていただきます。地区としては、特に財団奨学生について、検討を深めたいと思います。

(3) 次年度の各クラブへお願いとして、当日のセミナーで配布させていただいた、「資料」については、ファイル化して、事務局での保管をして欲しい。また、先に、配布させていただいた、「ハンドブック」についても、同様に保管していただきたい。

※ これらの資料は、当面の「マニュアル」となりますから、出席の方々には、必ず、ファイル化しての、事務局での保管をお願い致します。

(4) 次年度の各クラブは、2013.4-2013.6に、新制度での、「地区補助金」と「グローバル補助金」の申請手続をしていただくことになります。

※ 新制度は、2013.7からのスタートになりますが、前年度が「計画年度」とされ、前年度の3月から6月の間に各補助金の申請をしていただくことになりますから、次年度は、「関係ない」ということではないことを、ご理解下さい。

3 さて、ポリオ撲滅のための、「2億ドルチャレンジ・ギフト」については、2億ドルを超えての寄付が達成されていますが、このプログラムは、本年の6月まで継続します。さらなる、ご寄付をお願い致します。放映したDVDは、ご希望があれば、各クラブにお送りします。ロータリアンの活動内容も紹介されています。各クラブでのロータリー財団委員会の取り組みの一環として、例会での放映を企画してみていただければ、ありがたいと思います。

以上、ご報告致します。いよいよ新しい制度のスタートです。各クラブのご理解とご協力を、心からお願い申し上げます。



第5ブロック I.M. 報告

山形北ロータリー I M実行委員会

国際ロータリー第2800地区第5ブロックのIMは、東日本大震災において犠牲になられた1万5850名と、生死不明の3281名の方々への〔黙とう〕から始まりました。

本年度は、細谷伸夫ガバナー、4名のパストガバナーと、吉村美栄子知事代理山形県商工観光部長廣瀬涉様ご臨席のもと、ブロック内10クラブから190名と、一般市民からのご参加をいただいての公開講演です。

細谷ガバナーの目標とされている家庭に地域に世界に〔思いやりの心〕の理念を基に、本年度のIMのテーマは、〔思いやりの心、震災に学ぶ〕であります。

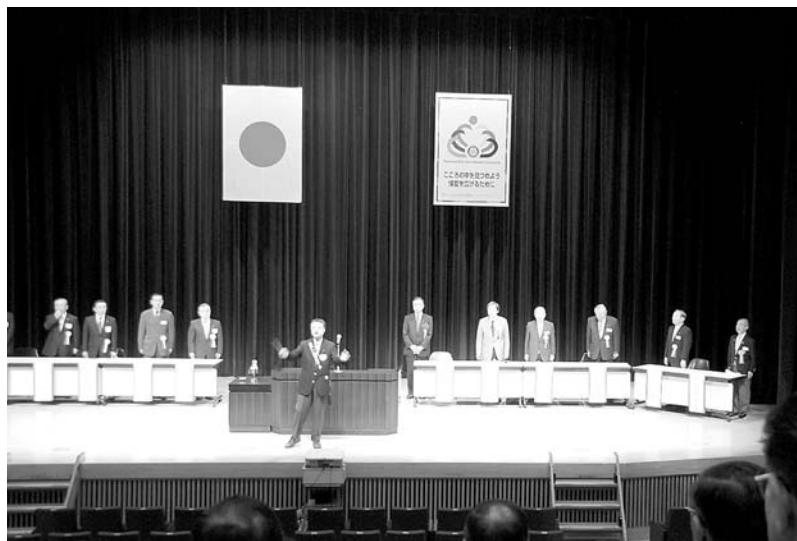
特別講演にはNHK仙台支局アナウンサー津

田善章氏を講師にお招き致しました。

氏が3,000人の被害者の方々と接した結論として、「被災者の本当の気持ちが分かることは出来ない、ただお会いした皆様を忘れない」熱い言葉がとても素直に残ります。

ガバナー補佐本多信明様の「被災者からの声を受け止め、それぞれお考えいただけたらIMの意義があった」とのお話しが明確な講評に添えられました。

また、次期IM開催クラブの山形西RC小松公博様より決意のご挨拶がありました。最後にご参加の皆様、他全会員にIMが成功裏に終えたことを感謝申し上げ、ご報告と致します。



第3回諮問委員会開催報告

3月3日(土) 10:30~12:00
(於) 山形グランドホテル

■諮問事項

(1) 地区大会の件

(2) 米山奨学生選抜試験

世界大会参加者状況について

2011年~2012年度

ガバナーノミニー決定のお知らせ

2014年~2015年度

ガバナー候補推薦について

東日本大震災復興支援について

タイ洪水災害支援先について

2011年~2012年度表彰申請案内について

チェンジメーカー賞

R I 会長賞

ガバナー賞

G S E チーム

(オランダR I 1560地区) 研修日程について

(3) 国際協議会報告(和田 廣ガバナーエレクト)

(4) その他



我々の クラブ活動紹介

長井ロータリークラブ

W C S 活動として長井RC 50周年記念事業であるインドネシア タンデス小学校図書贈呈プロジェクトの完備状況視察のため2011年11月1日より6日間の日程で12名でインドネシア・カリアシンRCへ訪問・例会にマークすると共に、インドネシア学校教育事情を視察して参りました。



文庫通信

ロータリー文庫は、日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など2万3千点を収集、整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFでもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

291号 2011年11月 最近のロータリー情報から

書名	著者／出版社	発行年	ページ
米山記念館と東京ロータリークラブの協力関係	宮本四郎 米山梅吉記念館館報	2011	2P
親睦Fellowshipについて	本田博己 ロータリーの力	2011	2P
歴史に残る1ページ：『ロータリ一年度』の由来	R I 国際ロータリー・ニュース	2011	1P
歴史に残る1ページ：研究グループ交換のはじまり	R I 国際ロータリー・ニュース	2011	2P
財団が『ロータリー日本・太平洋諸島地震災害復興基金』を設立	R I 国際ロータリー・ニュース	2011	2P
今、ロータリー・ルネッサンスのとき	関場慶博 D.2530 地区大会記録	2011	10P
ロータリーの職業奉仕と日本の伝統的実業倫理	安平和彦 D.2500 地区大会報告書	2011	12P
ロータリーの奉仕活動について	前川昭一 D.2720 地区大会記録	2011	5P
歴史に残る1ページ：会場監督	R I 国際ロータリー・ニュース	2011	1P

292号 ガバナー月信より

書名	著者／出版社	発行年	ページ
クラブ活性化の為の知恵	大澤 徳平 D. 2640月信	2011	1P
ロータリーの意味論(3)人間モラトリアム	久野 薫 D. 2680月信	2011	4P
ロータリーの意味論(4)因縁果律	久野 薫 D. 2680月信	2011	4P
ロータリーの意味論(5)犠牲なき奉仕	久野 薫 D. 2680月信	2011	4P
基本	玉井 公詞 D. 2650月信	2011	1P
会員増強におもう	杉本 直 D. 2650月信	2011	1P
最近思うこと	大西 省司 D. 2650月信	2011	1P
例会は楽しいですか～『職業奉仕について』	森 玄房 D. 2550月信	2011	2P
日々是職業奉仕	大澤 徳平 D. 2640月信	2011	1P
10月職業奉仕月間に因んで	米田眞理子 D. 2640月信	2011	2P

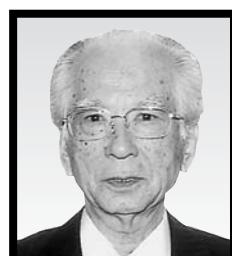
ロータリー
文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館一小时前10時、午後5時
休館一十一日、祝祭日

この度開催された国際ロータリー第2800地区地区大会に
多勢の会員の皆様よりご参加・ご協力賜わり、心より厚く
お礼申し上げます。

国際ロータリークラブ第2800地区
ガバナー 細谷 伸夫
山形西ロータリークラブ
会長 小松 公博
地区大会実行委員会
委員長 清野 伸昭

ご冥福をお祈りします



山形西ロータリークラブ
鈴木 芳博氏
2012.3.5 享年83歳

記載もれが有りましたら、ガバナー事務所までお知らせ下さい。

クラブ会員数／出席率

プロ ック	No.	クラブ名	2011.7.1 会員数	内女性 会員数	2012.2.29 会員数	内女性 会員数	年初からの増減数		2月 出席率	年初からの 平均出席率
							増	減		
第1ブロック	1	酒田	38	3	37	3		1	85.88	85.04
	2	酒田東	32	3	34	3	2		81.90	84.83
	3	遊佐	11	0	12	0	1		100.00	91.86
	4	酒田中央	38	0	38	0			80.01	82.30
	5	酒田スワン	17	6	16	5	1	2	100.00	100.00
	6	酒田湊	17	2	16	2		1	88.75	89.91
第2ブロック	7	鶴岡	37	5	41	5	4		73.01	79.37
	8	鶴岡西	33	4	34	4	1		84.32	87.02
	9	余目	26	0	25	0	1	2	75.00	79.84
	10	立川	16	0	16	0			85.93	85.02
	11	鶴岡東	36	1	36	1			72.47	73.55
	12	鶴岡南	24	4	24	4			67.71	72.76
第3ブロック	13	天童	42	1	42	1	1	1	89.76	91.33
	14	東根	36	0	38	0	4	1	78.30	80.91
	15	天童東	48	0	50	0	2		87.96	82.12
	16	天童西	20	0	20	0			98.75	93.02
	17	東根中央	37	1	37	1			83.10	87.15
	18	村山	14	0	13	0		1	98.08	96.27
	19	新庄	19	2	20	2	1		83.75	84.33
	20	尾花沢	18	0	18	0			68.05	77.96
	21	最上	20	1	20	1			92.50	60.77
	22	尾花沢中央	16	0	16	0			90.00	92.05
	23	村山ローズ	21	5	21	5			74.50	73.34
	24	新庄あじさい	20	0	20	0			82.00	87.21
第4ブロック	25	寒河江	49	0	49	0			86.84	89.86
	26	大江	20	1	20	1			96.03	94.00
	27	河北	30	0	30	0	2	2	89.44	87.05
	28	寒河江さくらんぼ	34	2	34	2			87.00	91.20
	29	西川月山	16	1	15	1		1	79.21	83.64
第5ブロック	30	山形	86	0	91	0	8	3	98.44	98.23
	31	山形北	70	0	73	0	3		100.00	99.12
	32	山辺	28	0	25	0	1	4	97.22	97.04
	33	山形南	53	1	53	2	2	2	100.00	99.02
	34	中山	15	0	16	0	1		73.44	76.32
	35	山形西	99	0	99	0	2	2	89.44	89.22
	36	上山	11	0	10	0		1	80.00	86.76
	37	山形東	38	0	37	0		1	92.67	93.93
	38	山形中央	36	4	35	4		1	85.61	85.76
	39	山形イブニング	30	0	30	1	1	1	67.24	75.25
第6ブロック	40	米沢	43	6	48	6	7	2	94.56	93.01
	41	米沢上杉	45	2	46	2	3	2	97.28	97.11
	42	高畠	48	3	48	3			90.63	82.53
	43	米沢中央	36	4	37	5	1		96.62	98.13
	44	米沢おしょうしな	28	1	29	1	1		94.83	94.40
	45	川西ダリア	9	0	8	0	1	2	80.60	68.25
	46	長井	34	1	33	1	2	3	84.10	90.94
	47	南陽	20	4	19	4	1		100.00	93.83
	48	白鷹	17	0	17	0			100.00	93.92
	49	小国	16	0	16	0			76.25	81.58
	50	南陽東	42	0	43	0	1		92.86	80.13
	51	長井中央	20	0	20	0			91.00	92.32
	52	南陽臨雲	30	1	28	1		2	72.60	64.02
合 計			1639	69	1653	71	55	38	86.84	86.43

日 曜 日	地 区 行 事
4/ 1 日	2800地区大会(山形県県民会館)
2 月	
3 火	
4 水	
5 木	
6 金	
7 土	
8 日	
9 月	
10 火	
11 水	
12 木	
13 金	
14 土	2800地区協議会(南陽市民会館)
15 日	
16 月	
17 火	
18 水	
19 木	
20 金	
21 土	
22 日	
23 月	
24 火	親善ゴルフ大会(蔵王カントリークラブ)
25 水	
26 木	
27 金	
28 土	
29 日	昭和の日
30 月	振替休日
5/ 1 火	
2 水	
3 木	憲法記念日
4 金	みどりの日
5 土	こどもの日
6 日	2012年度 RI国際大会(タイ・バンコク)
7 月	
8 火	
9 水	
10 木	



国際ロータリー第2800地区
2011－2012年度ガバナー

ガバナー事務所

〒990-0041 山形県山形市緑町1-9-30 緑町会館3F
TEL.023-674-9777 FAX.023-674-9778

細 谷 伸 夫

GOUVERNOR'S Monthly Letter

4 月の地区スケジュール

山形探訪 Yamagata Tanbou



■山形西ロータリークラブ創立40周年記念事業

月の階段 ブロンズ

創立40周年記念事業部の方の提案で実現しましたが、その提案者の方と記念像の製作 峰田義郎氏が同級生というご縁もあるそうです。完成当時、モニュメントの写真をテレフォンカードにして配られました。見る人の気持ちを和らげる作品です。

- ・作 者：東北芸術工科大学教授
峰田 義郎氏
- ・設置場所：文翔館玄関左庭園(旧県庁)
- ・設置年度：平成9年(1997)

山形市内7RC寄贈の
モニュメントを順次紹介いたします。

【今回の表紙】

越冬 — 木の芽ほころぶ 春の「宝紅庵」(山形市)

[写真撮影] 松村スタディオ